

参考様式B5(自己評価等関係)

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 ハレルヤハウス			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ~ 2024年 11月 18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日 ~ 2025年 1月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題をしっかり検討した上で、個別支援計画書の作成を行っている。	個別支援会議や毎日の話し合いの中で、職員の意見を聞き、個別支援計画書の内容や優先順位の検討をしている。 また、共通理解をした上で、日々の支援提供に反映させている。	パート職員への共有や、パート職員も含めた話し合いの場を設けていきたい。
2	子どもの状況に応じての対応ができるようにしている。	基準配置数より多くの職員配置や、必要に応じてクールダウンや落ち着いて過ごせる場所としての個室の提供やパーテーションの使用をしている。 また、子どもが自己選択できるような関わりを行っている。	家庭や学校、他事業所での子どもの様子の情報共有に取り組んでいきたい。
3	事業所での活動内容や子どもの様子を送迎時に保護者に伝えている。	インスタグラムでの情報発信やプラスメッセージアプリを活用して子どもの写真や様子の情報を発信している。	支援の質の向上のために2024年8月より支援時間中に書く連絡帳を廃止した。その日の様子は送迎時にしっかりと伝え、1ヶ月ごとに利用中の写真や様子をプラスメッセージで報告していくようしているが、毎月定期的に発信できていないので、今後は毎月発信できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員会議や個別支援会議への参加が正規職員のみになっていること。	パート職員の勤務時間に合わせると会議を行う時間が取れない。	議事録の回覧や最重要事項については口頭で伝えている。 会議への参加が可能なパート職員には参加してもらえるように声をかけていく。
2	家庭や学校、他事業所での子どもの様子の情報共有が薄い。	保護者や学校の先生、相談員や他事業所それぞれに必要に応じて子どもの様子の確認を行っているが、関係者が集まって話し合いをする場の設定がない。	保護者や相談員に担当者会議開催の依頼をしていく。
3	避難訓練の周知ができていない。	各マニュアルの周知や実際に避難訓練を年4回行っていることの周知が口頭のみになっている。	避難訓練を行った際の報告や、できれば事前に訓練のお知らせをプラスメッセージを活用して行っていくようとする。